

2024年1月17日

「自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)フォーラム」への参画について

めぶきフィナンシャルグループ(取締役社長 秋野 哲也)は、このたび、「自然関連情報開示タスクフォース(以下、「TNFD^{*1}」)」の取り組みに賛同し、TNFDフォーラムへ参画しましたので、お知らせいたします。

TNFDは、企業が自然に関連した情報開示を行うことにより、資金の流れを「ネイチャー・ポジティブ」(自然に対して良い影響)へ転換させることを目指しており、TNFDフォーラムは、こうしたTNFDの議論をサポートするステークホルダー組織です。

当社グループが主たる営業地盤とする茨城県、栃木県は、涸沼^{*2}、渡良瀬遊水地^{*3}、奥日光の湿原^{*4}といったラムサール条約湿地をはじめ、豊かで多様な自然を有しています。当社グループは、「気候変動・環境保全」をグループ横断的に取り組む重要課題(マテリアリティ)として掲げており、経済活動とネイチャー・ポジティブの両立が、持続可能な社会を実現する上での大前提と考えています。

当社グループは、TNFDフォーラムへの参画を通して、自然関連の財務情報を開示する枠組みの構築に貢献するとともに、茨城県、栃木県をはじめとする自然資本や生物多様性の保全に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

- *1 TNFD(Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)。国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)、国連開発計画(UNDP)、イギリスの環境NGO Global Canopy、および世界自然保護基金(WWF)により2021年6月に正式に発足した、自然資本や生物多様性に関連した幅広い情報開示の枠組みの開発・提供を目指す国際イニシアチブ。
- *2 茨城県銚田市・茨城町・大洗町にまたがる関東地方で唯一の汽水湖で、カモ類の渡来地、ヒヌマイトトンボ等の生息地。
- *3 茨城県古河市、栃木県栃木市・小山市・野木町、群馬県板倉町、埼玉県加須市にまたがる低層湿原および人工湿地で本州最大級のヨシを主体とする湿地。トネハナヤスリ、タチスミレ等の生育地であり、オオヨシキリ、チュウヒの渡来地。
- *4 栃木県日光市の高層湿原。100種以上の湿原性植物の生育が確認されているほか、オーストラリアからオオジシギが飛来し、ノビタキ等が生息する日本有数の野鳥の生息地。

以 上